

デジタル社会における金融システム設計 -オープンバンキングと貸出市場-

背景

- ・異業種参入と金融のデジタル化
- ・貸出市場での競争環境の変化
- ・変容する銀行の役割

Open Banking

- ・顧客主導のデータ共有
- ・APIを通じた情報開放
- ・国際的に導入が進展

エビデンス

- ・理論研究: He et al. (2023 JFE)
- ・実証研究: Babina et al. (2025 JFE) Alok et al. (2024 NBER WP)

デジタル社会競争の本質

- ・ハード情報 = 共有可能
- ・ソフト情報 = 共有できない
- ・競争力の源泉 = 情報生産力 & ソフト情報



提言

- ・欧州Financial Data Access Regulation (FiDA)に準じた規制枠組の整備
 - ✓ データ主権は借り手(情報優位者は借り手)
 - ✓ ハード情報は原則共有(金融サービス提供者間でイコール・フットイングが原則)

借り手 > 銀行 = その他金融機関 = Fintech

- ・ソフト情報・情報生産力・リスクテイキング能力で勝負する金融市場の形成
 - ✓ ソフト情報の生産・活用、それに基づく適切なリスク判断に対して、正のインセンティブを与える評価枠組のを構築
 - ✓ 銀行(Banks)が銀行業(Banking)を今後もけん引